

1.6 研究者の状況

1.6.1 在籍状況

(1) 雇用形態別

研究者の雇用形態別の人数を見ると、常勤非任期付が、9,475人（対前年度比▲0.6%）、常勤任期付が3,413人（同+3.3%）、非常勤が2,043人（同▲18.1%）であった。

それぞれが研究者全体に占める割合では、常勤非任期付が63.5%（前年度から1.3%増）、常勤任期付が22.9%（同2.4%増）、非常勤が13.7%（同2.6%減）であった。

年代別では、30歳代（5,072人）、40歳代（5,161人）が多くを占めた。しかし、雇用形態の割合でみると、40歳代の方において常勤非任期付が80.2%と30歳代（42.4%）の約2倍だった。

図1-36 法人別在籍研究者数（雇用形態別積上げ）

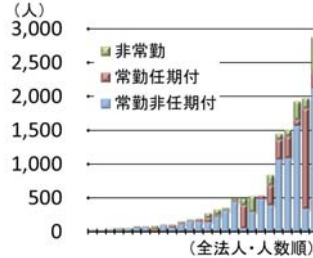


図1-37 就業形態別の研究者数

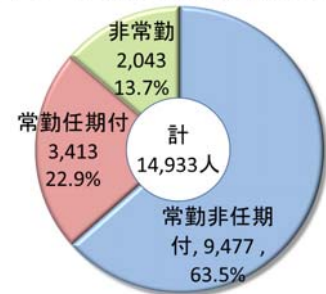
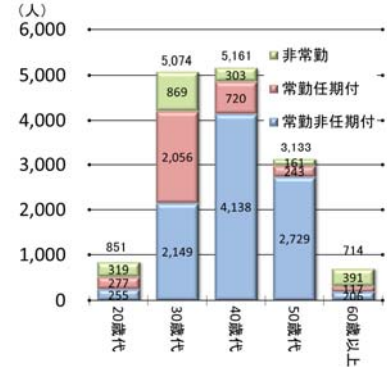


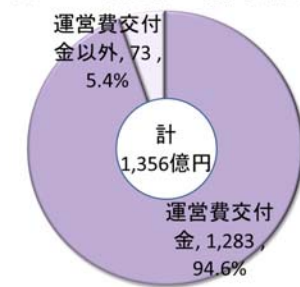
図1-38 年代別在籍研究者数



(2) 財源別

研究者人件費の94.6%が運営費交付金であった。

図1-39 研究者人件費（財源別）



(3) 年代別

年代別の人数では、20歳代は851人（対前年度比▲7.0%）、30歳代は5,072人（同▲4.3%）、40歳代は5,161人（同▲0.6%）、50歳代は3,133人（同+1.0%）、60歳以上は714人（同▲18.6%）

図1-40 年代別の研究者数と全体に占める割合

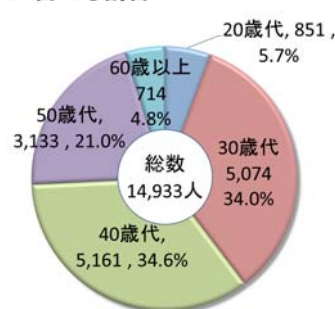


図1-41 年代別研究者が占める割合別法人数

